



	年度	H25	H25	H25	H25	H25	H25	H25	H25	H25	H25	H25	H25	H25	H26	H26	H26	H26	H26	H26	H26	H26	H26	H26	H26
	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
H26年度用システム																									
					←主に需要報告用として使用→									←受領業務用として使用→											
H27年度用システム																									
																					←主に需要報告用として使用→				

上記のように教科書事務執行管理システムは年度毎に使用するシステムを使い分ける必要がございます。ただ需要報告から受領報告に至るスパン（期間）が約 21 か月になるため、通年 7 月以降は需要報告用のシステムと受領報告用のシステムを併用することになります。

平成27年度 受領冊数集計用 マスタ	平成28年度 需要数集計用 マスタ
<a href="#">Ver1.6.1 445 KB</a> <a href="#">平成27年3月13日</a>	<a href="#">Ver1.7.1 411 KB</a> <a href="#">平成27年6月12日</a>
<a href="#">Ver1.6.1 445 KB</a> <a href="#">平成27年3月13日</a>	<a href="#">Ver1.7.1 411 KB</a> <a href="#">平成27年6月12日</a>
<a href="#">Ver1.6.1 445 KB</a> <a href="#">平成27年3月13日</a>	<a href="#">Ver1.7.1 411 KB</a> <a href="#">平成27年6月12日</a>

この2年度にわたりマスタが存在するのは併用するためです。H27 年度用システムには H27 年度用のマスタが必要であり、本来 H28 年度用のマスタを取り込む必要はございません。もし間違っ取り込んだ場合はシステムより復元機能を使用して元に戻してください。日頃からシステムからバックアップを取るようお願い致します。

通年、6 月以降年度更新を行います。その際に以下の手順のように使用していたファイルのコピーをとり次年度用のファイルを作成します。

H27 年度を例

①H27 年度用システム本体を選択して右クリックを行い選択してコピー、貼り付けを行う。つまり同じ内容の別名のシステムを作成します。

- ②ファイル名は H28 年度用システムにします。
- ③通達等にございます年度処理を行い、H27 年度用システムとして運用を行う。

注意事項：

多くの場合、マスタ更新が行われます。このマスタ更新は原則新年度（次年度用）にて必要です。また採択教科書リストの取り込み、採択教科書の設定を忘れずに行ってください。この設定がないと転学児童教科用図書給与証明書が発行出来ません。

学校用、設置者用、都道府県用ともに同じように運用します。ただしこれは例を挙げておりますのでファイル名の付け方、フォルダ管理等は任意であり時期も通達により変更いたします。バックアップ、復元機能によって H27→H28→H29 とデータ（名簿、使用冊数等）は引き継ぎます。